

レファレンスセンター等関連会議

寄生虫

世話人：永宗喜三郎(感染研・寄生動物)

レファレンスセンター活動・寄生虫

- ・各ブロックの拠点となる地研は指定していない。
- ・課題となる寄生虫を選び、関連の地研・検疫所とメーリングリストを利用して情報交換(研修)。

・課題の寄生虫

- (1) 4類 マラリア, エキノコックス **(感染症法)**
- (2) 5類 クリプトスポリジウム, ジアルジア, 赤痢アメーバ

-
- (3) 食品媒介寄生虫 **(食品衛生法)**

クドア, サルコシスティス, アニサキス等

食中毒事件票・病因物質の種別

レファレンスセンター等関連会議：寄生虫

話題の提供と情報交換（演者・所属：敬称略）。

A. アニサキス

「アニサキス症～現状と今後の展望～」






（下川周子・感染研）

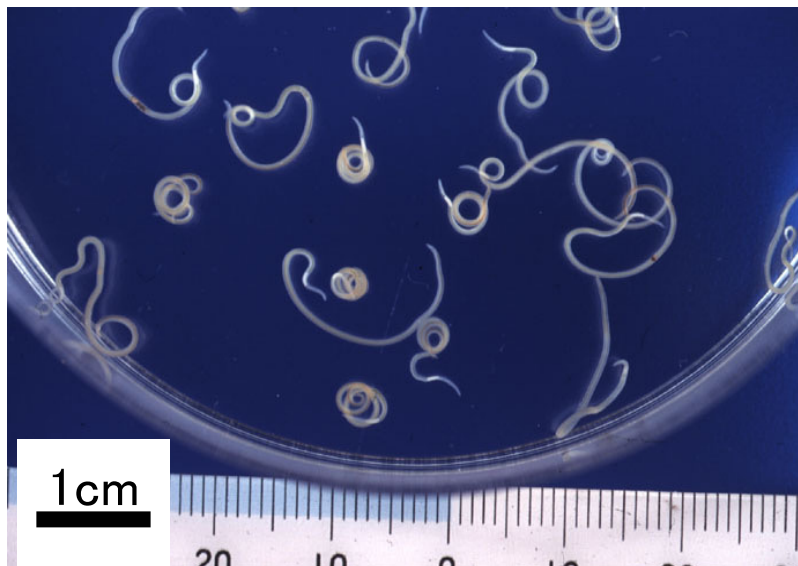
B. 腸管寄生原虫

「消化管寄生原虫類の実践的検査法の普及による
検査体制の強化—令和5年度調査報告」

（八木田健司・感染研）

アニサキス症～現状と今後の展望～

-  アニサキスによる食中毒件数は6年連続第一位
-  黒潮の蛇行による、原因魚種の変化
-  アニサキスの診断、予防方法、食品衛生法における取り扱いについて
-  アレルギーとしてのアニサキス症
-  アニサキスアレルギー研究の最新の知見



〒162-8640

東京都新宿区戸山1-23-1

Tel 03-5285-1111

Mail: info@nih.go.jp

国立感染症研究所・寄生動物部・第二室

下川 周子

(しもかわ ちかこ)

消化管寄生原虫類の実践的検査法の普及による検査体制の強化

国立感染症研究所 寄生動物部
八木田健司

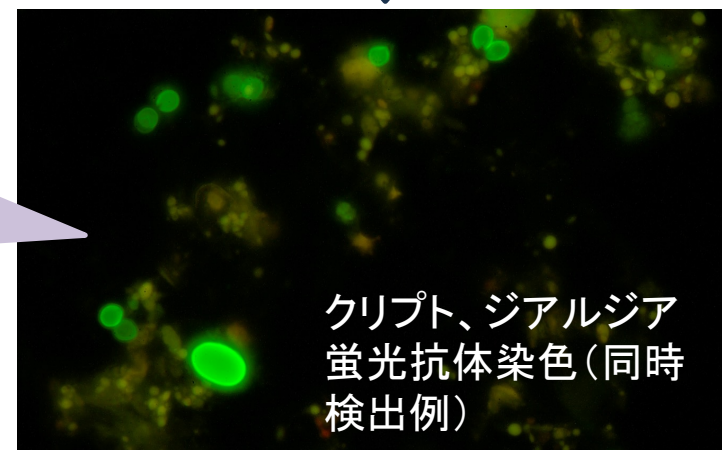
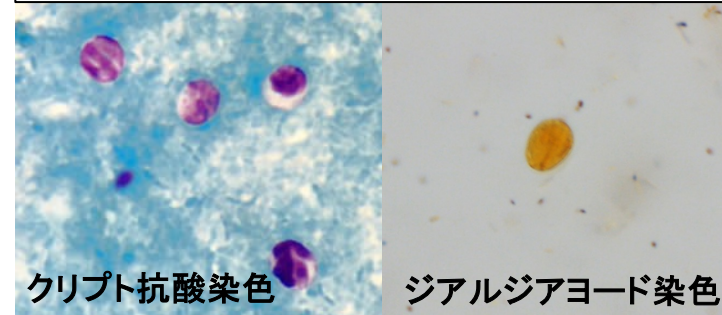
■ 消化管寄生原虫症であるジアルジア症及びクリプトスポリジウム症は5類感染症。**国が行う感染症発生動向調査の結果に基づいた対策が求められる**

■ その基盤となる**簡便・確実な実践的検査法**として、R4-5年度の2年間、のべ全国23地研と協力して、**蛍光抗体染色法の有用性を評価**（令和4、5年度 厚労省新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業-宮崎班）

■ **迅速・簡便で即応性のある実践的検査法**としての**実用性が評価された**。来年度も継続

■ 地研での導入を推進、**今後求められる地研の原虫検査機能の強化**に結び付ける

従来法(迅速・簡便性、特異性に欠ける)



試料と抗体混ぜて15分で観察。各原虫特異的モノクロー抗体と長寿命蛍光標識に Dylight488 を使用

【研究・検査に関するご質問・ご相談】



レファレンスセンター等関連会議

寄生虫

世話人：**永宗喜三郎**(感染研・寄生動物)

地研に寄生虫に関する問い合わせや検査の依頼があれば、是非引き受けて下さい。感染研・寄生動物部にその内容をご照会下さい。対応にご協力します。